

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	015	訓練分野	A.バックオフィス－新技術活用
コース名	RPA活用		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-096-015 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/7/25（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●RPAを活用した業務の自動化を行いたい方 ●RPAの活用方法を学びたい方 ●実際にRPAツールに触れたい方		
習得する スキル等	●業務の自動化による生産性向上をめざすRPAの概要や導入手順、活用方法		
ポイント	RPAとはどのようなツールか、またどのような業務について活用できるかということについて解説すると同時に、実際にツール（PowerAutomateDesktop）で作成していただくことで、ツールの概要について習得いただく。		
内容	<p>1. RPAの導入手順</p> <p>（1）RPAの概要と導入の流れ RPAとは何かについて解説します。また、RPAを導入するにあたり、何をしなければいけないかについて導入手順をもとに説明します。</p> <p>（2）RPAの適用範囲（対象業務）の決定 RPAの機能を解説し、適用していい業務とそうでない業務について事例に基づいて解説します。</p> <p>（3）対象業務のプロセスや業務量のまとめ RPAを導入するための対象にすべき業務のプロセスの洗い出し方や、導入前後の業務量の比較などについて解説します。</p> <p>（4）RPAの運用ルールの整備 RPAを運用していくにあたり、失敗しないためのポイントを交えながら、運用ルールの整備の仕方について解説します。</p> <p>2. RPAの活用方法</p> <p>（1）RPAツールの種類 現在世の中にある代表的なツールについてその特徴を解説します。</p> <p>（2）RPAツールを活用するための準備 RPAツールを活用するための手順について解説します。</p>		

	<p>【演習】セルフワーク サンプルデータを使ってRPAツール（PowerAutomateDesktop）の使い方の基本をマスターしていただきます。</p> <p>3. RPA開発の役割</p> <p>(1) 自社開発とベンダーによる開発 自社開発とベンダーによる開発について、メリット、デメリットとやり方の違いや費用面について解説します。また、ベンダーによる開発を行う場合のポイントについて解説します。</p> <p>(2) 運用と保守 RPAにおける運用と保守とは何を指すのか、またそれに必要な費用などについて解説します。</p> <p>※使用するパソコンはツールのインストール済みのものを実施機関で用意します。</p>		
実施機関	株式会社東京ナレッジプラン		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	PowerAutomateDesktop	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具		
備考	—	座学は短めにして、一人1台のパソコンを使って、実際に使い方の基本を習得していただくことに重みを置きます。演習については、初級から中級レベルの例題を用意します。これらをマスターしていただければ、会社に戻ってからの応用展開が可能になるようなものを用意します。	